

コメント

1.手足口病

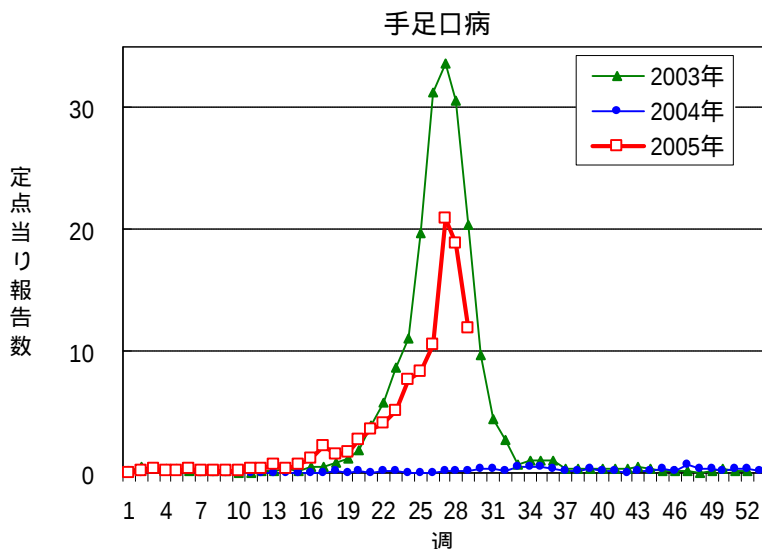
定点当り12.0人と減少しています。第27週に定点当り20.9人となった後、2週続けて減少しており、ピークは過ぎたものと考えられますが、依然として例年に比べて報告数の多い状態が続いています。

2.流行性耳下腺炎

定点当り2.92人とほぼ横ばいとなっています。西区、安佐北区ともに4.3人、南区3.3人、安芸区3.0人、安佐南区2.8人となっています。

3.ヘルパンギーナ

定点当り1.33人とほぼ横ばいとなっています。安芸区では5.0人となっています。



5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	-	-	-		麻疹(注3)	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	6	0.25	0.72		流行性耳下腺炎	70	2.92	0.89	⇒
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	0.42	0.76	⇒	RSウイルス感染症	-	-	/	
感染性胃腸炎	71	2.96	2.63	⇒	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
水痘	32	1.33	1.04	⇒	流行性角結膜炎	3	0.38	1.53	
手足口病	287	11.96	5.72	⇒	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	8	0.33	0.42		無菌性髄膜炎	4	0.57	1.43	
突発性発疹	19	0.79	0.92		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17	
百日咳	-	-	-		クラミジア肺炎(注4)	-	-	0.03	
風疹	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	32	1.33	5.05	⇒					

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1)過去5年間の同時期平均(定点当り)
(注2)高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3)成人麻疹を除く
(注4)オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
4	レジオネラ症	2	2	男性(40歳代)、男性(60歳代)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

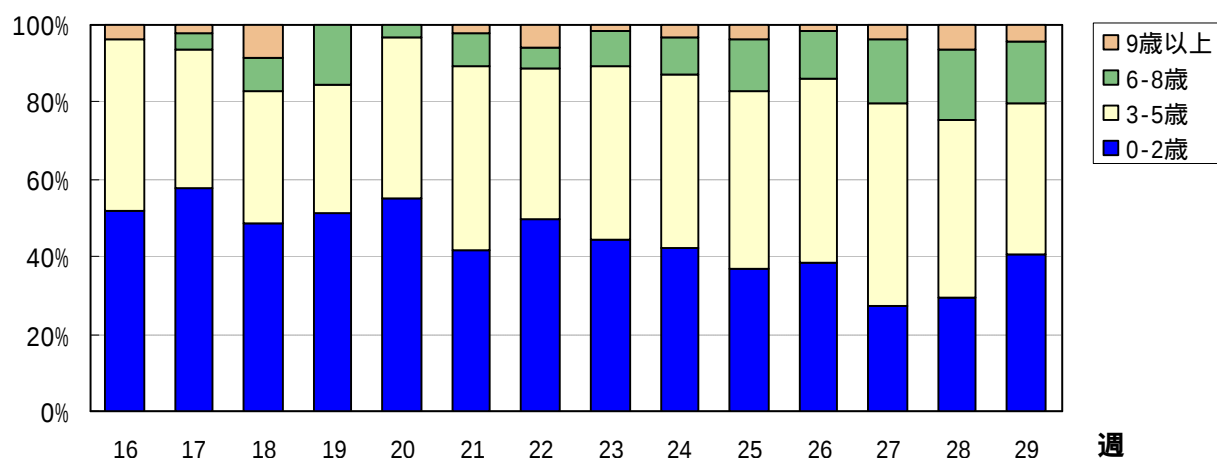
報告数	広島市	第25週 第26週 第27週 第28週 第29週	インフル (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	第25週	1	11	37	114	55	200	16	24	5	-	9	-	83	-	12	-	3	1	-	-
		第26週	-	10	22	103	40	252	15	27	3	-	21	-	55	-	3	1	2	-	-	-
		第27週	-	13	27	134	42	501	12	21	1	-	27	-	83	1	4	-	2	1	-	-
		第28週	-	16	19	100	25	452	17	20	1	-	30	-	71	-	-	-	5	-	-	-
		第29週	-	6	10	71	32	287	8	19	-	-	32	-	70	-	3	-	4	-	-	-
定点当り	広島市	第25週	0.03	0.46	1.54	4.75	2.29	8.33	0.67	1.00	0.21	-	0.38	-	3.46	-	1.50	-	0.43	0.14	-	-
		第26週	-	0.42	0.92	4.29	1.67	10.50	0.63	1.13	0.13	-	0.88	-	2.29	-	0.38	0.14	0.29	-	-	-
		第27週	-	0.54	1.13	5.58	1.75	20.88	0.50	0.88	0.04	-	1.13	-	3.46	0.13	0.50	-	0.29	0.14	-	-
		第28週	-	0.67	0.79	4.17	1.04	18.83	0.71	0.83	0.04	-	1.25	-	2.96	-	-	-	0.71	-	-	-
		第29週	-	0.25	0.42	2.96	1.33	11.96	0.33	0.79	-	-	1.33	-	2.92	-	0.38	-	0.57	-	-	-
	全国	第27週	0.15	0.60	1.16	3.20	1.38	2.01	0.40	0.78	0.01	0.01	5.85	0.01	1.64	0.01	1.00	0.01	0.03	0.23	0.01	-
		第28週	0.18	0.64	1.06	2.87	1.20	2.30	0.44	0.76	0.01	0.01	6.04	0.01	1.46	0.03	1.11	0.02	0.07	0.27	-	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	3	男	2005/06/08	髄液	ムンプスウイルス

【参考】広島市における手足口病患者の年齢階層別構成比の推移 (2005年第16週～第29週)



今年の手足口病は、例年より早 (4月下旬ごろ (第16～17週)) から流行が始まりました。

3歳間隔の年齢階層別構成比では、流行初期から5月中旬 (第20週) ごろまでは0-2歳の年齢層が占める割合が大きく、半数以上を占めていましたが、流行が進むにつれて、より高い年齢層である3-5歳及び6-8歳の年齢層の占める割合が大きくなってきました。第27週のピークを過ぎてからは、0-2歳の低年齢層の占める割合がやや増加する傾向にあります。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第29週 (7月18日～7月24日)